

森のひろば

NO.1006

21年12月

近畿中国森林管理局



大阪市北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763
http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/

トピックス

身近な森林の再発見!!

11月7日、滋賀県立琵琶湖博物館において「グループ対抗里山デジカメ選手権」の公開最終審査会を開催しました。



写真：上 里山について語るミニトークショー
下 各グループの発表が終わり審査の様子

写真：上 作品を前に里山への熱い思いを語る参加者
下 表彰式の様子

箕面森林環境保全ふれあいセンターでは、11月7日、滋賀県立琵琶湖博物館において「グループ対抗里山デジカメ選手権」の公開最終審査会を開催しました。この選手権は、里山に暮らす動植物や森林づくり活動、森林環境教育活動などの撮影を通じて、里山の現状や役割を多くの人に伝えることを目的とし、今年で3回目となります。

今年は、「身近な森林の再発見」をテーマに3枚の写真1組を1作品として、学校、森林・林業活動グループ、企業、家族など全国から、83グループの応募があり、この中から第一次審査を通過した、30グループが最終審査に進みました。

当日は、審査会の前にフリーアナウンサーの青山佳世さんの司会によるミニトークショーを開催し、ゲストとして写真家の今森光彦氏、農学博士の只木良也氏に加え、当局鳥取森林管理署関金森林事務所の下地頭所森林官による「身近な里山」というテーマで、里山に対する思い入れ、活動などをトークしていただきました。ミニトークショー終了後、最終審査に移り、一次審査を通過した各グループの代表が日頃の活動や作品の説明、里山への思いをスピーチし、単に映像の美しさにとどまらず、作品に込められたメッセージ性も審査し、今森氏、只木氏、青山氏の審査により林野庁長官賞1点、滋賀県立琵琶湖博物館長賞1点、近畿中国森林管理局長賞7点を決定しました。

「グループ対抗里山デジカメ選手権」入賞者

◎最優秀賞（林野庁長官賞）【森林・林業活動部門】

『菅平の黄門様』とお付きふたりが森をゆく」

NPO法人やまぼうし自然学校（長野県上田市） 瑞慶覧 明子 佐藤 明希 西澤 純子



＜作者からのメッセージ＞

山々に囲まれた長野県では、森はとても身近な存在。いつでも遊びに行くことができ、いつでも感じるができます。いろいろな表情を見せ、多くの驚きや発見を与えてくれる気持ちのいい空間。森を愛してやまない「菅平の黄門様」とお付きふたりが、早速森を歩いてみました。

澄んだ空気と濃い緑を体中で感じ、いい気分です歩いていると、ゾウにも見える、ジャガーにも見える「一本で二度おいしい」存在感たっぷりの巨木に出会いました。深い緑色のコケにおおわれた根は、すらっと長いゾウの鼻のよう。少し見方を変えると、ジャガーのお尻に大変身。今にも森から飛び出していきそうな躍動感に驚きました。

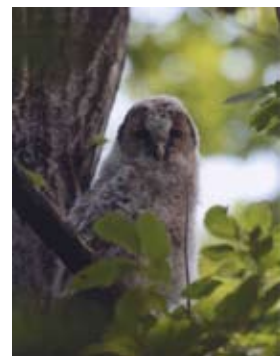
葉っぱの裏をひょいっと覗いてみると…あら、かわいい！小さくて真っ赤な虫こぶがたくさんくっついていました。丸い虫こぶはよく目にしますが、この形はなかなか珍しい。あまりに可愛いので、私たちだけのオリジナル名を考えました。名付けて、「葉裏脈ボクシングパンチ」。ボクシングのグローブによく似たこの虫こぶは、その後、この葉っぱ以外の場所では見つけることは出来ませんでした。うれしい貴重な出会いとなりました。

慣れ親しんだ森でも、日々その表情は変化します。多くの方が森を歩き、その面白さや心地よさを実際に体験して、森を大切に思う人が増えたらいいと思います。

◎琵琶湖博物館長賞【一般部門】

「生まれたよ～」

トヨタの森（愛知県豊田市） 池上 博身 杉山 時雄 大原 満枝



◎優秀賞（近畿中国森林管理局賞）①【学校部門】

「猿と暮らす」

京都教育大学附属京都中学校（京都市北区） 三柴 富 藤井 康之



- ② 【学校部門】「棚田の春」
広島県立庄原格致高等学校（広島県庄原市） 石田 香織 瀧口 杏奈



- ③ 【森林・林業活動部門】「赤沢ヒノキ林」
NPO 法人自然と緑（兵庫県神戸市） 寺田 知子 寺田 稔



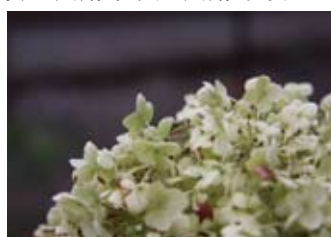
- ④ 【森林・林業活動部門】「次代の子供たちのために」
京都乙訓ロータリークラブ（京都府長岡京市） 中村 一弘 木村 俊六 長谷川 太一



- ⑤ 【一般部門】「里山の木のぬくもり」
ファミリー（広島県神石郡） 宮本 罔宏 宮本 京子 宮本 許代



- ⑥ 【一般部門】「おじいちゃん家（ち）のカエル？」
夕実とこの自然を守ろうよ（長野県伊那市） 大藏 夕実 大藏 和代



- ⑦ 【一般部門】「森は遊び場」
しみずわんぱく隊（福井県福井市） 清水 政浩 清水 優菜 清水 壱政



地域ニュース

「岡山チャレンジワーク14」の開催

【森林技術センター】 新見市立神郷中学校2年生が新見市の合同森林事務所、森林技術センターで3日間にわたり実習を行いました。

この実習は、岡山県教育委員会が「岡山チャレンジワーク14」（※中学2年生14歳の意味）として実施しているもので、県内の各事業所で生徒が実際に実習生として、職場体験活動を行うものです。

新見市内の企業、事業所から、当所を希望した実習生は1名でしたが、この機会に広く森林・林業の現場を体験してもらいたいと思い、森林事務所と森林技術センターの両方の業務を体験していただくことになりました。

実習期間の前半は、森林事務所の実習生として、森林官と一緒に間伐調査や作業道の測量などに汗を流し、境界巡検で境界管理の重要性と大変さを体験し、帰ってきた後はデータ整理や測量データの製図と、今度は頭の汗をかいてもらいました。オプションとして



作業道の予定路線にテープを巻く実習生

実体鏡を用いた航空写真の立体視にもチャレンジしました。

普段見ることのできない、家や学校の近くにある国有林の仕事です

が少しは興味をもってもらえたのではないかと思います。実習期間の後半は森林技術センターの森林技術専門官と行動を共にしました。さし木試験の発根状況を確認するために、さし木を掘り返し、カルスの形成状況を観察したり、照度調査として一昨年度から導入したオプトレーフテープの回収に林内を歩き回ってもらいました。

実習生は家でもスギを少し育てているとのことでしたが、山の中で遊んだりした経験は殆どないとのことでした。でも、少しとまどいながらも積極的に山を這い回り、実習に取り組んでもらいました。

地域の方々に国有林を身近に感じてもらうために、今後も、このような実習に積極的に協力していきたいと考えています。

関連ホームページ
<http://www.kinki.kokuyurin.go.jp/gijyutsu/>

ドコモ美作の森で下刈作業を実施

【岡山森林管理署】 ^{だいとやま} 大戸山国有林（岡山県久米郡美咲町）において、NTTドコモ中国支社社員による下刈作業を実施しました。

当該地は、平成16年度に法人の森林契約を行い、クヌギやサクラなどを植栽し、毎年、同社社員により下刈作業を行っています。当日は、社員35名、当署



下刈作業に汗を流すNTTドコモ社員

及びグリーンOB会より5名が参加しました。開会に先立ち、NTTドコモ杉本広報室長の挨拶、当署からは米戸次長が挨拶を行い、その後、グリーンOB会松本会長が作業方法や注意事項について説明を行いました。

スズメバチ、マムシ、ウルシといった危険動植物については、知らずに遭遇したり触れる人も多いことからパネルを使って実物を示し、対処方法を分かりやすく説明しました。

作業は2人1組となり、植栽木を誤伐しないようにテープで印を付けた後、下刈鎌等による刈払いに汗を流しました。残暑厳しい中でしたが、怪我もなく無事予定区域の作業を終えました。

作業終了後は、木陰にて昼食を取り、最後に全員で記念撮影をし、木々の成長を祈りつつ来年も継続して作業することを確認し閉会しました。

関連ホームページ
<http://www.kinki.kokuyurin.go.jp/okayama/>

お知らせ

もり 森林のギャラリー（局庁舎1階）

【展示スケジュール】

12/7～1/29

管内スキー場展



<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sitasimou/gallery/index.html>